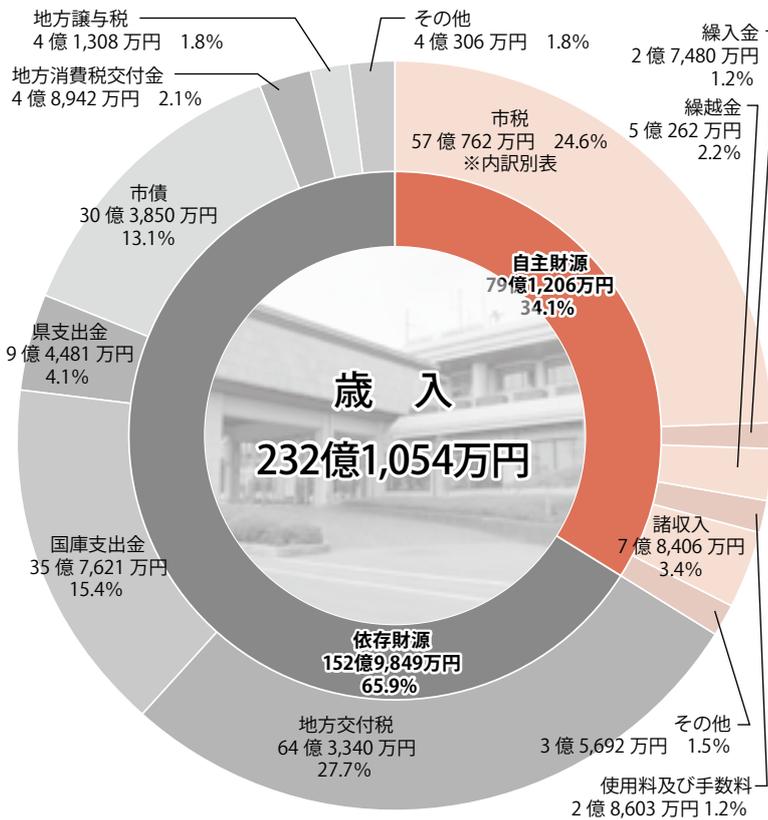


# 平成21年度 決算報告

平成21年度の決算が、12月定例議会にて認定されました。

今回はその概要を一般会計を中心にお知らせいたします。

<b>一般会計</b>	歳入	232億 1,054万円
	歳出	220億 6,498万円
<b>特別会計</b>	歳入	112億 7,368万円
	歳出	109億 5,232万円
<b>公営企業会計</b>	収入	5億 1,852万円
	支出	6億 1,930万円
<b>全会計</b>	歳入・収入合計	350億 274万円
	歳出・支出合計	336億 3,660万円



## 歳入内訳の解説

### 歳入内訳の自主財源（グラフの赤の部分）

皆さんに納めていただいた税金や使用料、手数料など、市が独自に収入した財源をいいます。

**市税**…市民税、固定資産税など

**繰入金**…基金（市の貯金）の取りくずし

**繰越金**…前年度から繰り越されたお金

**使用料及び手数料**…市の施設やサービスなどが利用されたときに収入されたお金

**諸収入**…給食費など

**その他**…財産収入など

### 歳入内訳の依存財源（グラフのグレーの部分）

国や県などからルールにより定められた額を交付されたり割り当てられた財源をいいます。

**地方交付税**…市の財政力に応じて国から交付されたお金

**国庫支出金**…市で行なった事業に対して国が負担するべきお金や補助したお金

**県支出金**…市で行なった事業に対して県が負担するべきお金や補助したお金

**市債**…大規模な事業を行なう時に借りたお金など（山武市では、返済するお金に対し、地方交付税がもらえる市債を借り入れています。）

## 一般会計歳入の状況

一般会計の歳入では、皆さんに納めていただいた市税（約25%）と国からの地方交付税（約28%）が柱となっております。

平成21年度は、景気低迷により自主財源の柱である市税が前年度に比べ、2億9,096万円（△4.9%）の減となりました。

依存財源は、この景気の低迷に対する国の政策を受けた事業の実施、成東東中学校の改築を実施したため、国庫支出金が前年度に比べ25億3,924万円（244.9%）増となっています。

また、市債につきましても上記の事業を実施することにより、前年度に比べ22億6,006万円（290.3%）増となっています。

上記のことから平成21年度の山武市の歳入は、依存財源の割合が前年度に比べ13.4%増の65.9%となりました。

市民税（個人）	23億 8,482万円
市民税（法人）	3億 439万円
固定資産税	25億 8,556万円
軽自動車税	1億 1,043万円
市たばこ税	3億 1,693万円
鉦産税	548万円
計	57億 762万円

## 市債の状況

\*市の借金である市債の状況をお知らせします。

21年度借入額	21年度元金償還額	21年度末現在高
30億 3,850万円	22億 9,688万円	205億 4,244万円

## 基金の状況

\*市の貯金である基金の状況をお知らせします。

21年度取崩額	21年度積立額	21年度末現在高
2億 5,296万円	13億 2,800万円	128億 4,366万円